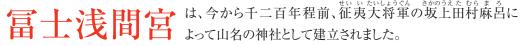


事士浅間

袋井市国本にある冨士浅間宮では 毎年、正月三日に「田遊び」という 民俗行事が厳かに行われています。







天正年間(1573~1592)には、武田の兵火によって社殿は総て焼失しますが、天正18年 (1590)地頭の本間源三郎が再建し、寛永15年(1638) 久野城主北条氏重によって現在の 場所へ移築されました。この檜皮葺き屋根の本殿は三間流造りの社殿建築で、国の重要 文化財に指定されています。



駐車場は有りますが止められる台数が 少ないのでご注意ください。 当日、会場への直接の連絡先はありません。

※悪天の場合中止になることがあります。

富士浅間宮の田遊びは、田打ち、田植え、弓取りの順番で稲作の まね事を地域住民が拝殿で演じる行事で、田植えまでの様子に重点が置かれ、 田植え後を省略することに特徴があります。



富士浅間宮の田遊びを見てみよう



1 田打ち

大きな音を立て田の中の悪いものを追い払うという独特なもので、拝殿の床を田に見立てて、鍬で田を耕すように柳の枝で床を打ちます。



2 田植え

清められた田に留を植える 所作を行います。拝殿床の 板の間に榊の葉を苗に見立 てて差し込み立てていき ます。



3 党取り

とり ま 鳥 追いのことばを唱えて からまうにか 害鳥獣を追い払って、一連の 行事が終わります。

静岡県西部に伝えられる豊作を祈る民俗芸能

富士浅間宮の田遊びが伝承されている袋井市を含む静岡県西部は、かつては遠江国と呼ばれ、全国的に見ても田遊びが豊富に伝承されています。しかも、田打ちから稲刈りまでの過程とともに、倉入れ、稲むらといった演目を加えた最も発展した型のものが多く見られます。そして、伝承地域に偏りが見られ、おおよそ天竜川上流域の浜松市天竜区の水窪町を中心とするもの、都田川水系、小笠山周辺という三つの地域に分けることができます。



You Tubeで実際の映像を ご覧いただけます。[約14分] 袋井市立図書館でDVDの 貸し出しも可能です。

ここだけの話

「富士浅間宮の田遊び」は、柳の枝を 鍬、榊や柳の枝を苗に見立てている ことや、お供えものの中に、生きたまま の鯉や鶏がいることも一見の価値が あります。なお、神事が終わると鯉は 池に、鶏は飼い主に返却されます。





■法多山の田遊び

静岡県指定無形民俗文化財 国記録選択無形民俗文化財 催地:袋井市豊沢 尊永寺

催日:1月7日

発 行

袋井市教育委員会文化振興係 TEL 0538-23-9264